

様式第1号(第5条関係)(用紙 日本工業規格 A4 縦型)

第2種事業届出書

令和元年12月9日

静岡県知事 川勝 平太 様

住 所 東京都港区赤坂2丁目16番8号 HAGA ビルII 3F

氏 名 株式会社ブルーキャピタルマネジメント  
代表取締役 原田 秀雄



次のとおり第2種事業に該当する事業を実施するので、静岡県環境影響評価条例第8条第1項の規定により届け出ます。

第2種事業の名称	伊豆スカイライン C.C. 発電所
第2種事業の種類	発電所の建設
第2種事業の規模	315,290 m <sup>2</sup>
第2種事業を実施しようとする区域	静岡県伊豆市上白岩字シンナシ 2070 番 2 他 6 筆 (別紙1、別紙2)
第2種事業の概要	既存のゴルフ場を利用し、太陽光パネルを設置して発電事業を実施する。(別紙3)

備考

- 「第2種事業の種類」の欄には、静岡県環境影響評価条例施行規則別表第1の事業の種類欄に掲げる事業を記載すること。
- 「第2種事業の規模」の欄には、第2種事業に該当することとなる要件(施行区域の面積等)を記載すること。
- 「第2種事業を実施しようとする区域」の欄には、当該区域を管轄する市町の名称並びに当該区域の大字、字及び地番を記載すること。なお、当該区域を含む縮尺5万分の1又は2万5千分の1の平面図を添付すること。
- 「第2種事業の概要」の欄には、届出を行う時点において把握できる限りの事業の内容を記載すること。なお、工作物の設置を目的とする事業については、当該工作物の配置計画の図面等を添付することで、当該欄の記載に代えることができる。



## 事業計画書

事業又は施設の名称	伊豆スカイラインC.C発電所
第2種事業を実施しようとする区域	伊豆市上白岩字シンナシ2070-2, 他6筆
建設行為に係る土地面積	建設行為に係る事業区域面積 315,290 m <sup>2</sup>
電気工作物の概要	太陽光パネル 100,000 枚 40,000 kW パワーコンディショナー、変電所など
全体計画の概要	<p>事業の目的： 東日本大震災において多大なる災害をもたらした原子力発電廃止への流れと、政府の再生可能エネルギーの普及促進への取組みに伴う電力の安定供給に少なからず寄与いたしたく、当地に太陽光発電設備を建設する計画です。</p> <p>完成後は弊社が保守管理を行い、東京電力に売電します。</p> <p>事業地及びその周囲は、昭和42年頃に別荘用地とゴルフ場用地を同時に開発した土地です。 事業区域全体が森林計画区域から除外されています。伐採は行いますが、伐根・造成等はせず、現状の地形を最大限利用し、パネルを設置致します。</p> <p>計画事業区域は伊豆市の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の太陽光抑制区域からも除外されています。</p> <p>法的な規制はありませんが、パネル設置により雨水排水の流出が早まる事や近年の温暖化による大雨等を考慮して、調整池を3ヶ所設置する予定です。下流の対象地区への住民説明会を開催し、住民の理解を得ながら施工します。災害時の電源として、蓄電池を設置し近隣住民に利用して頂く予定です。</p>

番号	所在地	地番	登記簿		
			地積 (㎡)		地目
1	静岡県伊豆市上白岩字白ヶ平	2067 番 7	35,707.00	㎡	原野
2	静岡県伊豆市上白岩字白ヶ平	2067 番 147	2,843.00	㎡	雑種地
3	静岡県伊豆市上白岩字シンナシ	2070 番 2	218,052.00	㎡	原野
4	静岡県伊豆市上白岩字シンナシ	2070 番 4	3,813.00	㎡	雑種地
5	静岡県伊豆市上白岩字石上	2071 番 21	40,947.00	㎡	原野
6	静岡県伊豆市上白岩字石上	2071 番 309	1,712.00	㎡	原野
7	静岡県伊豆市上白岩字石上	2071 番 310	741.00	㎡	原野
合計地積 (登記簿)		計 7 筆	303,815.00 ㎡		
			91,904.18 坪		

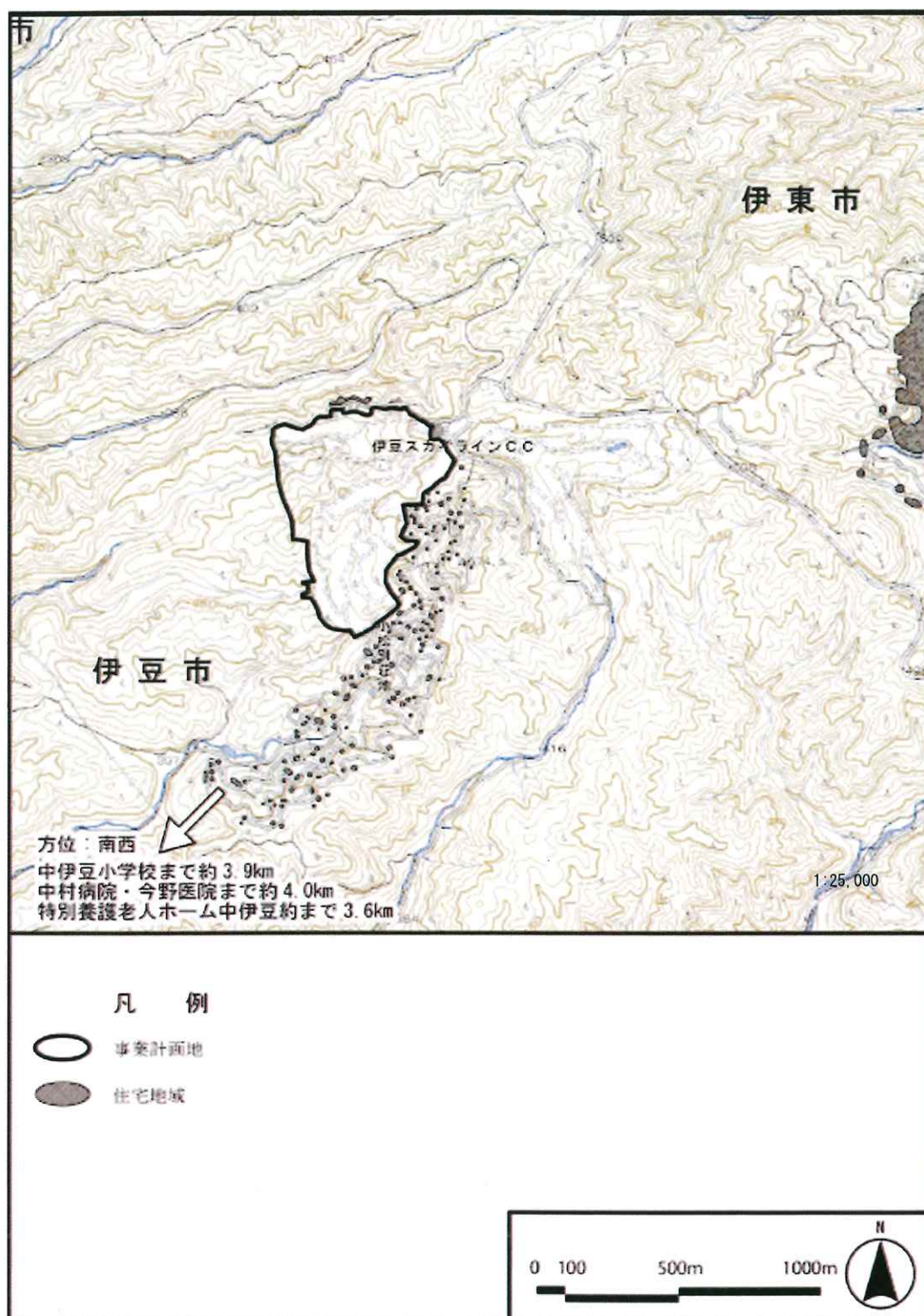


図 2-1 配慮が特に必要な施設及び住宅の配置状況

## II. 事業計画概要

## 1.事業計画概要

### (1) 事業の名称

伊豆スカイライン C.C.発電所

### (2) 事業主体

東京都港区赤坂2丁目16番8号 HAGA ビルII3F

株式会社ブルーキャピタルマネジメント

代表取締役会長 兼 社長 原田 秀雄

### (3) 事業の目的

資源が枯渇しない再生可能エネルギーを普及させ、エネルギー安全保障の確立と地球温暖化防止への貢献という政府目標に沿うべく、良好な日射が期待できる静岡県伊豆市において、太陽光発電施設を建設することを目的とする。

## 2.当該土地の概要及び選定理由

### (1) 計画地及び周辺地域の概要

#### 1) 現況地目別面積

開発前の面積

	種類	田	畑	山林	原野	雑種地	国公有地	合計
実測面積	面積 (ha)				30.936	0.593		31.529
	割合 (%)				98.12	1.88		100

#### 2) 土地利用計画表

土地利用面積

	種類	施設用地						合計
土地利用計画	面積 (ha)	31.529						31.529
	割合 (%)	100.00						100

### (2) 道路計画

- ・太陽光発電施設場内は施設等の維持管理のため、幅員 3.0～5.0m の管理用通路を適宜配置する計画とする。
- ・資材搬入時の交通安全対策として道路出入口に交通誘導員を適宜配置し、歩行者及び一般車両との事故等が起きないように適切に交通管理を行う。
- ・資機材の運搬は過積載を行わないよう、全ての運転者に指導を行う。

(3) 選定理由

- ・発電効率の観点より日照条件に支障がないこと。
- ・資材搬入等に必要な道路があること。
- ・比較的、至近に本事業で発電した電気を接続する東京電力の送電線がある。

3.生活環境保全対策

(1) 工事中及び完成後の公害防止対策

【工事中】：造成工事は行わないが、設備工事としては以下のとおり

- ・使用する建設機械は「排出ガス対策型建設機械」を使用する。
- ・使用する建設機械は「低騒音、低振動型」とし、始業前点検を行い騒音・振動防止に留意する。
- ・工事関係車両の場内低速度走行を周知徹底させ、停止時のアイドリング停止に努める。

【完成後】：

- ・太陽光発電施設のため、大気汚染、水質汚濁等の影響はないと考える。

(2) ごみ処理対策

- ・現場内で発生したゴミは一般廃棄物、産業廃棄物とともに法令に遵守し適切に処理する。

4.自然環境保全対策

(1) 地形・地質

- ・当該事業地は昭和 40 年代に建設されたゴルフ場であり、自然地形を生かした丘陵地である。事業実施区域は、既存ゴルフ場を利用する計画であり、既存ゴルフ場周辺の地形改変は行わない計画である。事業実施区域周辺は中起伏火山地及び小起伏火山地に位置し、事業実施区域は、ゴルフ場の跡地の人工改変地となっている。

(2) 植物、動物、その他自然環境

- ・区域周辺の森林は、現状のまま保存する。

5.災害の防止措置

- ・地盤の改変工事を実施しないことから、既存の排水設備は、そのまま利用する。当該事業にて災害を助長する要因はない。
- ・パネル設置に伴い、雨水排水の流出が早くなる事を考慮し、新たに調整池を3カ所設置します。

## 6. 給水計画

- ・新たな給水計画はない。

## 7. 排水計画

- ・過去雨水による災害履歴もないことから、既存の雨水処理施設をそのまま利用する。
- ・パネル設置に伴い、雨水排水の流出が早くなる事を考慮し、適切に排水溝を設置します。

## 8. 飲料水及び農業用水等の確保

- ・特になし。

## 9. 埋蔵文化財の保護対策

- ・地盤の改変工事を実施しないことから、文化財保護法上問題ない。
- ・市指定の手続きがあれば指導に従う。

## 10. 建設発生土及び伐木処理

- ・地盤の改変工事を実施しないことから、土砂の搬入、搬出はない。
- ・雑木程度の伐採は生じる可能性がある。市当局と協議し適宜対処する。

## 11. その他

### (1) 周辺住民、各町内会への説明状況

- ・地元住民、水利組合への説明会開催は予定していないが、要望があれば真摯に対応する。

### (2) 建設中及び完成後の維持管理

#### 【発電所建設期間中】:

- ・建設場所予定地に工事用仮囲いを設置し、関係者以外の侵入防止を行う。
- ・現場責任者の指導の下、維持管理を徹底する。

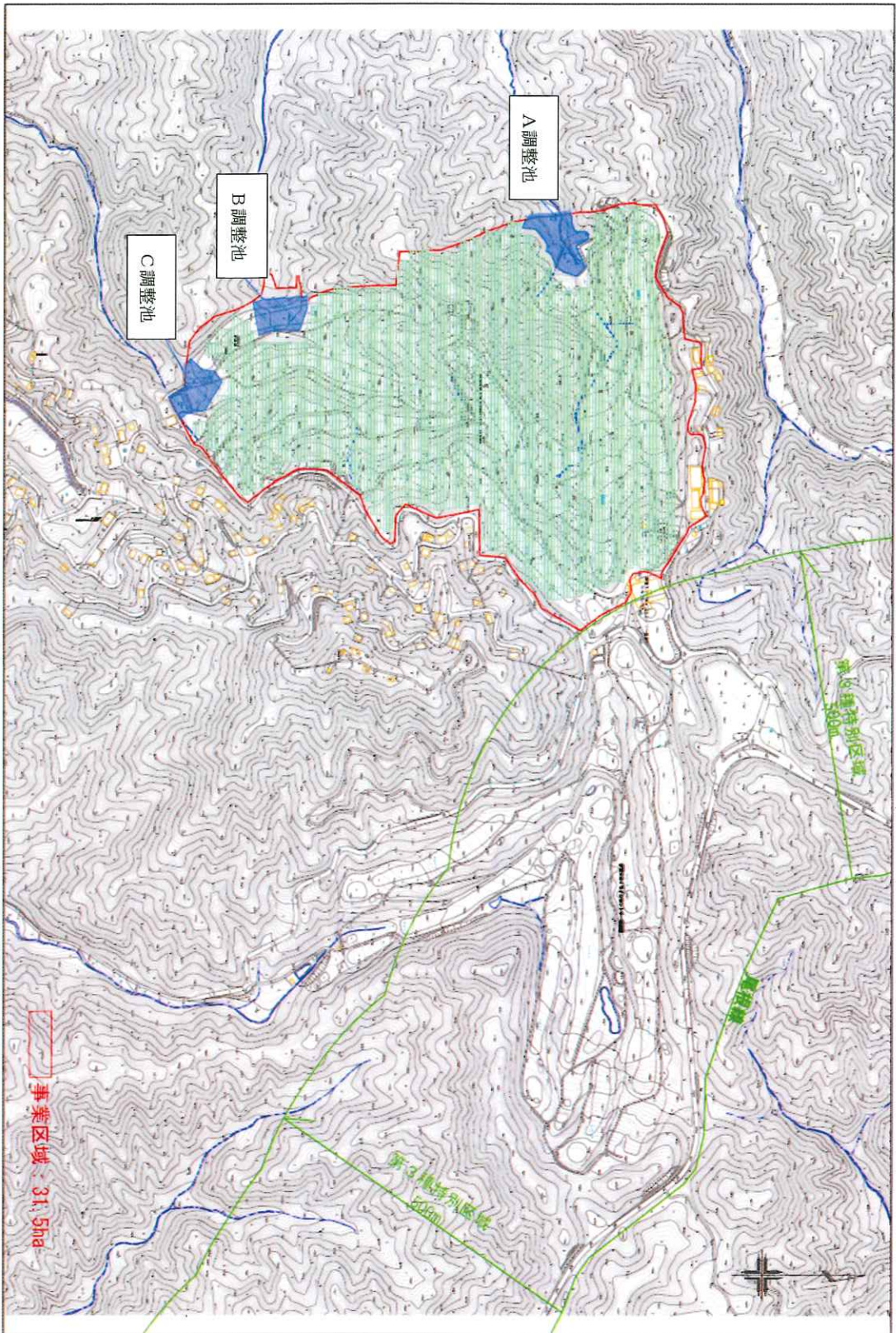
#### 【運転開始後】:

- ・事業用地外周に防護柵等を設置し、関係者以外の侵入防止を行う。
- ・メンテナンス委託業者が定期的な維持管理を行うと併に、異常気象が予測される場合には適宜、メンテナンス業者が防災に向けた対応に努める。

### (3) 直接流出部の防災対策

- ・地盤の改変工事を実施しないが、パネル設置に伴い、雨水排水の流出が早くなる事を考慮し、新たに調整池を3カ所設置します。



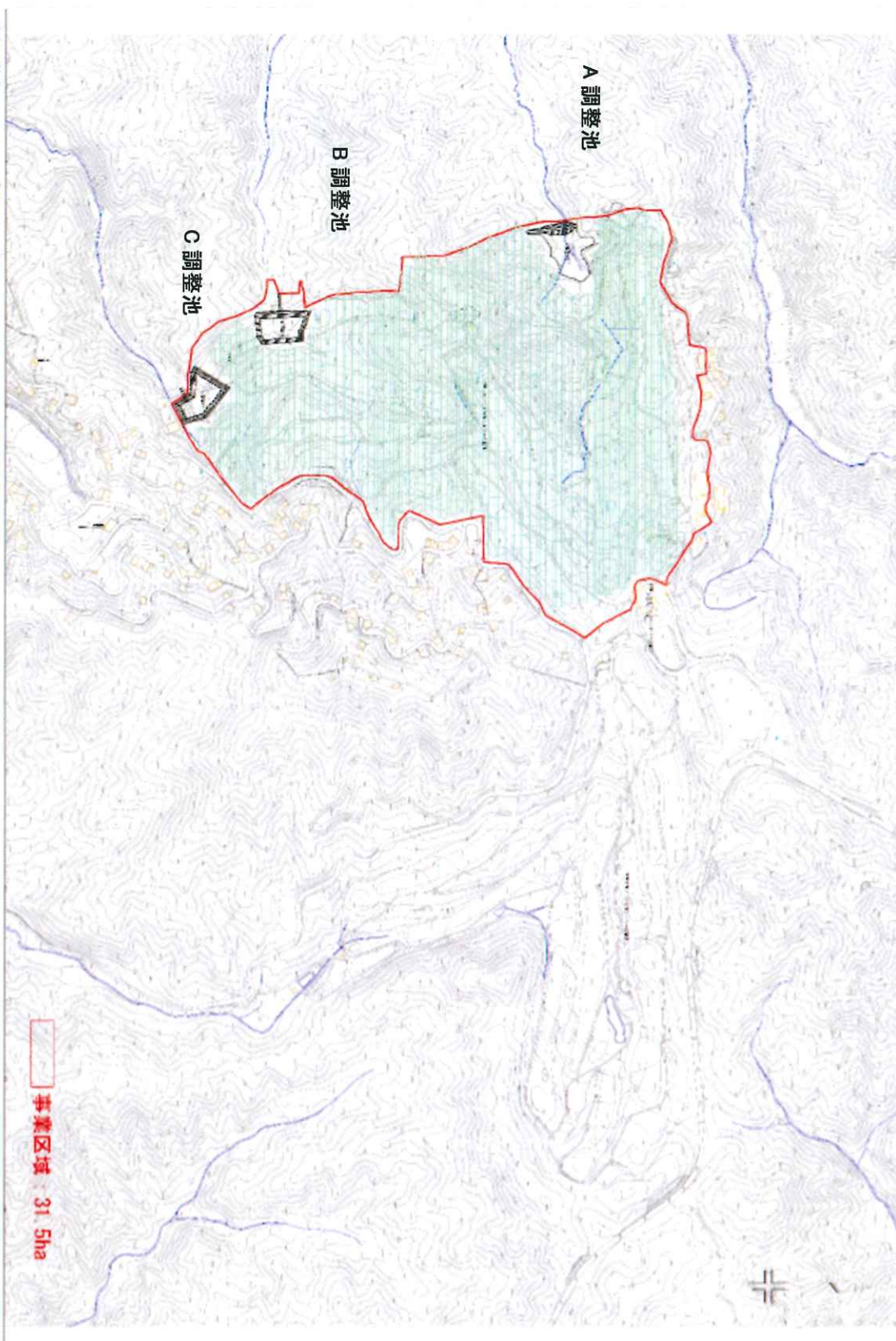


〔仮称〕BCM伊豆スカイラインC.C.発電所計画  
合同会社 Blue Power 箱根

土地利用計画図 A1212.000  
3000 1:1 1/16  
神奈川県建設設計株式会社







〔仮称〕BCM伊豆スカイラインC.C. 発電所計画  
合同会社 Blue Power 様

土地利用計画図

土地利用計画図 1:1,000  
2017.08.30  
株式会社 伊豆スカイライン





〔仮称〕BCM伊豆スカイラインC.C.発電所計画  
 合同会社 Blue Power 箱根

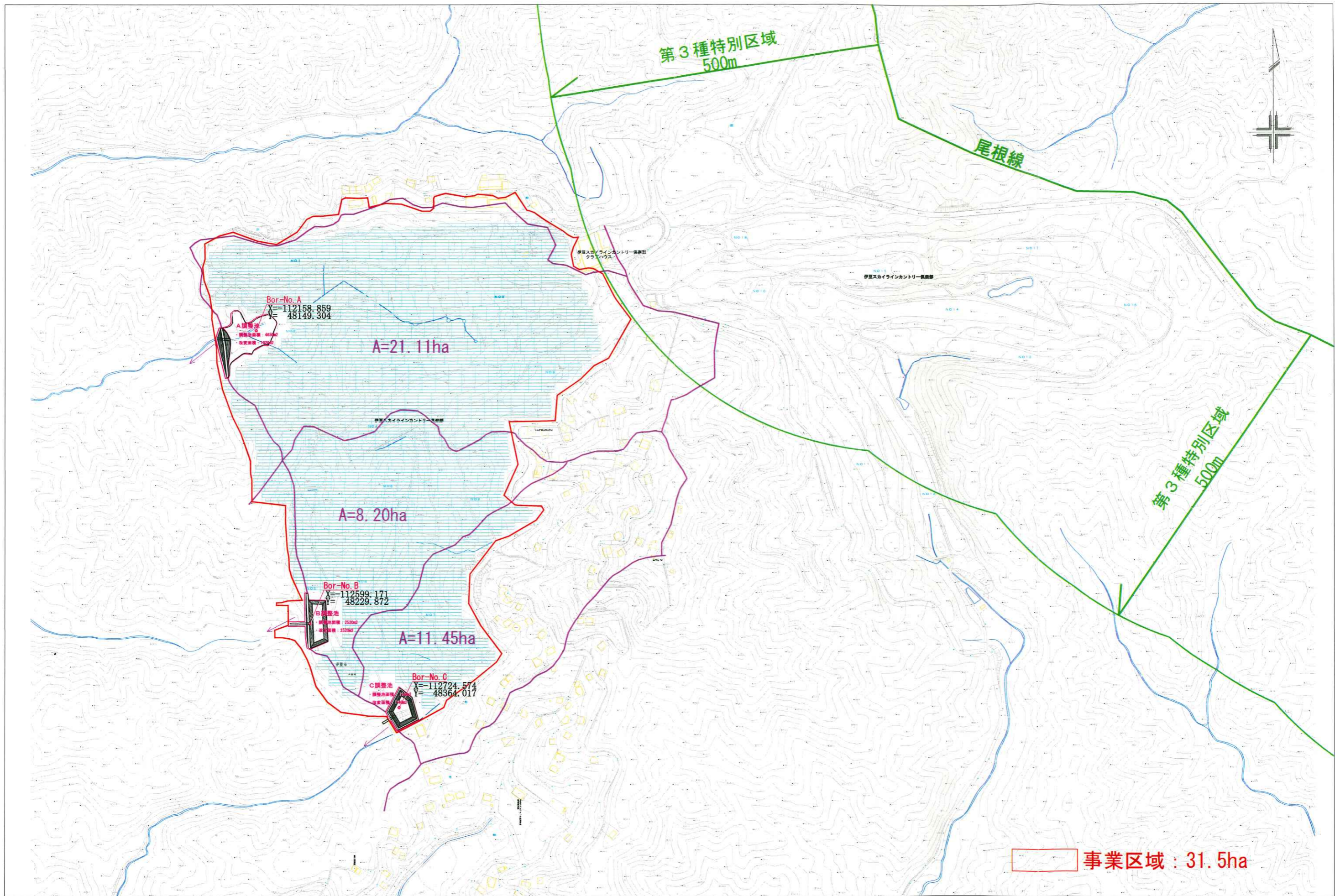
当該図面の現況図は、国土地理院発行地形図(S=1/25,000)を使用しています。

位置図 S=1:25,000

2019 11 25

神奈川調査設計株式会社





〔仮称〕BCM伊豆スカイラインC.C. 発電所計画

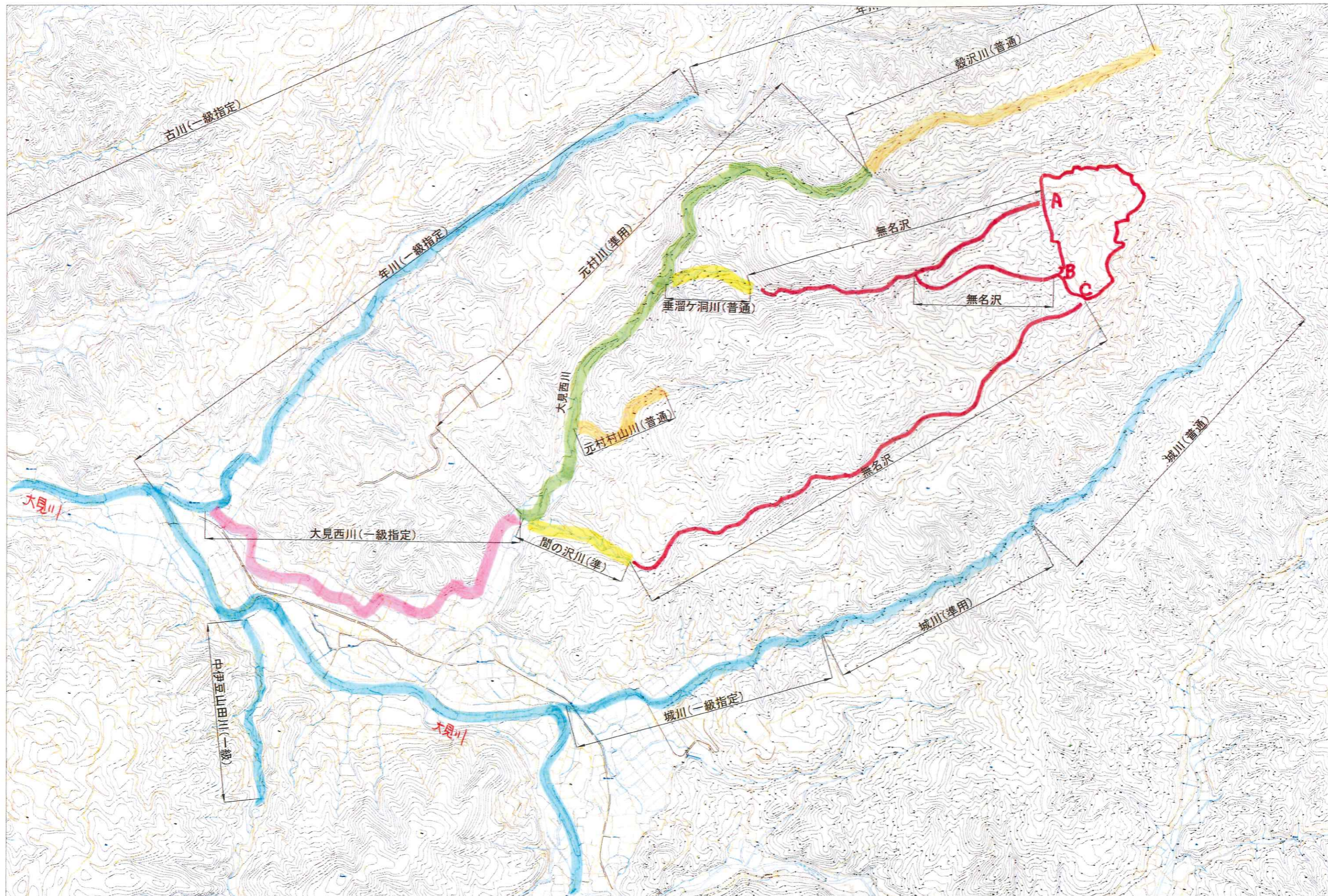
合同会社 Blue Power 箱根

調整池平面図及び流域図 A1:S=1:2,500  
A3:S=1:5,000

2019 11 25

神奈川調査設計株式会社





[仮称] BCM伊豆スカイラインC.C. 発電所計画

株式会社ブルーキャピタルマネジメント

A1:S=1:10,000

神奈川調査設計株式会社

